

学校評価の充実・学校改善に向けた取組

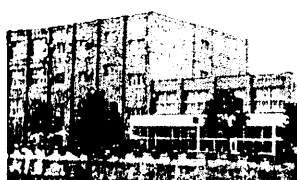
～自己評価、児童・保護者アンケート、学校関係者評価の一体的な取組から

確実な改善の一手を生み出すために～

札幌市立拓北小学校

I はじめに

本校の取組



- ・交流会
- ・三者評価項目の関連

1 本校における学校評価のねらい

学校評価の最大の目的は、「子どもの育ち」に結びつく改善を図ることにある。具体的な改善の手だてが明確になっているか、また、手だてが実行され、それが「子どもの育ち」に結びついているか、常に検証していくことが必要である。

本校では、学校評価に見直しをかけ、教育活動を改善するための課題がより明らかになるようにするために、教育活動の状況や児童及び保護者の意識についてアンケートをもとに把握・分析し、よりよい改善の方向性を打ち出していくように取り組む。

また、学校関係者による「評価のあり方」についても検討していく。

これらを通して得られた改善策及び教職員の意識の高まりが、学校改善につながるものとする。

2 昨年度の学校評価をもとにした改善点

学校経営方針の中にある「重点目標」を基に評価項目を設定し、中間評価と年度末の2回にわたる学校評価を行ってきた。また、自己評価の際に、児童及び保護者アンケートの分析・考察を意識しながら評価できるようにしてきた。しかし、「重点目標」の表記を直接評価項目として設定したため、具体性に欠けるものとなってしまった。自己評価の項目と、児童及び保護者アンケートの項目に関連性が弱く、結論を一本化することが難しいものがあった。また、学校評価全体会の中で学校運営面だけでなく「子どもの育ち」も意識していくべきとの意見もみられた。

そこで、今年度は学校評価の原点に立ち返り、学校教育目標にある「子どもの姿」を基に、「子どもの育ち」に結びつくことを目指して以下のような改善を考えた。

- 「子どもの育ち」を基に、教師自身の取組を評価する機会を設定する。
- 学校経営方針の「重点目標」をさらに具体化した自己評価項目を設定する。
- 児童・保護者アンケートが、自己評価との間に関連性をもつように設定する。
- 学校評価全体についても絶えず検証し、取組を進める。

II 本校の学校評価システム

教育課程プロジェクト

- 教務部門 行事
- 研究部門 学級活動
- 指導部門 学級指導

1 自己評価の充実を図る組織体制

教務主任を中心に、教務部門・研究部門・指導部門、指導部門内の行事部・学級活動部・児童活動部の五者による教育課程プロジェクトがPDCAサイクルを意識して学校運営に取り組む体制の中で作業を進めている。

2 自己評価と児童・保護者アンケート、及び交流会の実施

二期四節をもとに、二節に児童アンケート、三節に保護者アンケート、それらを踏まえながら、三節終了時に教師による自己評価を実施している。三者の設問はできる限り関連させ、様々な立場からとらえることができるように作成している。

また、昨年までの中間評価にかわって各節を振り返り、交流会を設定している。三節までの各節ごとに、子どもの変容や育ちの要因について、教師同士が確かめ合うことによって、次節以降の取組の改善に生かしていくことができた。

3 学校関係者評価

学校関係者には、学校便りをはじめ、参観日や行事などの際に案内を届けて学校のねらいや子どもたちの活動を理解していただくようにしている。

また、学校評価の理念や手法について分かりやすく整理した資料を提示・説明し、ご意見や助言をいただいている。

Ⅲ 学校評価の年間の流れ

期	節	月	自己評価			学校関係者評価
			学校(教員)	児童	保護者・地域	学校関係者評価委員会
前 期	一 節	4	学校経営方針 学習参観懇談 家庭訪問 学年学級経営案	学力テスト(2~6年) 全国学力・学習状況 調査(6年) 1年生を迎える会	P T A総会 学習参観懇談会 1年生を迎える会	入学式参観
		5	学年別年間指導計画 保護者参加型授業計画 学びの支援全体会 運動会の取組	運動会がんばりカード 運動会	学校教育説明会 学級懇談会 P T A全体会 運動会	運動会参観
		6	学校評価基本方針 教育課程プロジェクト (委員会からの提案) ・評価項目 ・児童、保護者アンケート 項目 ・交流会テーマ ・学校関係者評価 交流会(「子どもの育ち」 の交流)		学習参観懇談会	
	二 節	7	教育相談 通知表・評価規準検討	児童アンケート実施	教育相談 スクールゾーン実 行委員会	
		8	児童アンケート集約・分析			学校関係者評価委員会① ・学校評価基本方針
		9	交流会(「子どもの育ち」 の交流) 通知表手交		学習参観懇談会	
後 期	三 節	10	教育課程プロジェクト委員 会 学習発表会	全校一斉お話の会 学習発表会がんばり カード 学習発表会	学習参観懇談会 学習発表会	学習発表会参観
		11	個人評価項目提案 交流会(「子どもの育ち」 の交流)		保護者アンケート 実施・分析 土曜参観P T A行 事	土曜参観
	12	個人評価 教育課程プロジェクト委員 会 教育相談	拓北スマイルフェス ティバル(児童集会)	児童集会参観 スクールゾーン実 行委員会 教育相談	児童集会参観	
	四 節	1	各部門、各部の評価、 改善案作成			
2		学校評価全体会 次年度学校経営方針提示				
3		次年度各部門、各部運営計 画作成 卒業式 通知表手交	1年間の振り返り 6年生を送る会 卒業式	学習参観懇談会 6年生を送る会 卒業式	学校関係者評価委員会② ・学校評価の結果 ・次年度の学校経営方針 6年生を送る会参観 卒業式	

資料1.「自己評価および学校関係者評価書」

平成21年 自己評価および学校関係者評価書

平成22年(2010年) 月 日
札幌市立 拓北 小学校

1 本年度の重点目標

「意欲をもって取り組み 高め合う子供の育成」

2 本年度の活動の重点

【学校重点目標を具現化するための重点活動】

- ① 学ぶ意欲をはぐむ授業
- ② 豊かな心をはぐむ教育
- ③ 子供自らがつくりだす活動
- ④ 学年・学級経営の充実
- ⑤ 配慮を要する児童の理解と指導
- ⑥ 家庭や地域社会との連携
- ⑦ 児童の安全確保

3 自己評価及び結果に対する学校関係者評価

達成状況

A…十分達成されている

B…おおむね達成されている

C…達成がやや不十分である

D…達成が不十分である

自己評価項目(教師・児童・保護者)及び学校関係者評価書

評価項目	自己評価				学校関係者評価
	児童のアンケート項目	達成状況	保護者のアンケート項目	達成状況	
<p>基本的・基本的な知識や技能の習得を目指して、日常の活動の中で体験的理解や繰り返しを重視した学習活動を展開している。</p> <p>子供が自ら課題をもち、問題解決的な学習の過程を取り入れ、調べる力・考える力を高める授業について、計画的に取り組んでいる。</p> <p>言語と文化の体験的理解を育む場として外国語指導を実施している。</p> <p>年間指導計画を十分に活用し、計画的に授業に取り組んでいる。</p> <p>道徳の指導の改善を目指し、体験的活動や心のノートの利用などについて計画的に行っている。</p> <p>1日の学校生活のリズムづくり、及び学びの基盤を育む場として朝の活動を機能させている。</p> <p>意欲をもって子供自らが活動をつくりだし、展開できる能力や態度を育てる場として、学級での係活動及び委員会やクラブ活動の指導を行っている。</p>	<p>①本を読むことは、好きですか</p> <p>②授業の中で、話し合い活動に参加していますか</p> <p>③外国語の時間に、英語を聞いたり、英語で話したりすることは楽しいですか</p> <p>④朝の活動は自分のためになっていますか</p> <p>⑤学級での係活動及び委員会やクラブ活動で、協力して活動していますか</p> <p>⑥自分のためをもち、運動会や集会活動(5・6年…委員会・クラブ活動等)に取り組んでいますか</p>	<p>お子さんは、基本的・基本的な知識や技能が身に付いていると思う</p> <p>お子さんは、自分で課題をもち、調べたり、考えたりする力が付いていると思う</p> <p>お子さんは、外国語活動を楽しんでいると思う(5・6年のみ)</p> <p>学校は、一年間の年間指導計画に基づいて教育活動を進めていると思う</p>	<p>お子さんは、学校の活動や友達とのかわりの中で楽しさ、思いやりや感謝の気持ちがあっていると思う</p> <p>学校は、ねらいをはっきりさせて、運動会や学習発表会、児童集会・学年行事等を通して子供を育てていると思う</p>	<p>改善の方向</p> <p>自己評価及び改善策に対する意見</p>	
<p>休み時間が、子供同士の望ましい人間関係づくりの場となるとともに、教師による児童理解及び指導の場として機能させている。</p> <p>子供とのかかわりの中で、児童理解の場を広げることができている。</p> <p>配慮を要する児童について、担任と関係職員(学年・総務・特別支援コーディネーター)や関係機関(特別支援指導員・スクールカウンセラー・学びのサポーター)とが連携して、組織的に対応している。</p> <p>いじめをなくする学校体制を築くことができ、いじめが確認された場合に対応マニュアルによる組織的対応ができるようになっている。</p> <p>学級の枠を越え、学年一体となった協働体制の確立をめざして学年研修に基づいた教育活動を行なっている。</p> <p>校外の研究会・研修会・講演会等に参加するなど、自己研鑽をしている。</p>	<p>⑦休み時間にグラウンドや体育館で、友だちと一緒に遊ぶことは楽しいですか</p> <p>⑧自分のよいところや得意なことを先生や友だちに話せてくれていますか</p> <p>⑨困ったことがあったとき、相談できる人がいますか</p>	<p>お子さんは、一人一人の子供の話の聞き、適切な指導をしていると思う</p>			
<p>挨拶の習慣を身につけ、心の通い合う人間関係づくりを目指して、あいさつ運動及び日常の指導を展開している。</p> <p>「一斉清掃の時間」の目的を伝え、学級内での当番的な自分の役割をしっかりと果たしたり、友だちと協力したりする態度を育む指導を行っている。</p>	<p>⑩教室や廊下で、お客さんや先生、友だちと会ったとき、自分から挨拶していますか</p> <p>⑪「一斉清掃の時間」などで、自分の仕事をしっかりと行っていますか</p>	<p>お子さんは、家庭や地域の中で、自分から挨拶していると思う</p>			
<p>休み時間に、けがを伴う思わぬ事故を未然に防いだり、事故に対する迅速な対応ができたりするように、巡回等を行っている。</p> <p>思わぬ事故を未然に防ぐために、日常の通学路や校区内、安全点検日等の施設設備の安全点検や確認が行なわれている。</p> <p>雨天、及び学校近隣における事件発生時に、児童が確実かつ速やかに下校する行動方法を身につける場として、集団下校訓練を機能させている。</p> <p>特別教室を含む各教室で、危険物(カッター・はさみ・金槌・釘など)の保管と使用法の指導を徹底している。</p> <p>給食の安全の確保をめざして、異物混入防止や食物アレルギー対応などを確実に実施している。</p>	<p>⑫事故や災害(交通事故・地震・火事・不審者等)から身を守る方法を知っていますか</p>	<p>お子さんは、事故や災害(交通事故・地震・火事・不審者等)から身を守る方法のために何をしたらよいかわかっていていると思う</p> <p>学校は、雨天及び学校近隣における事件発生時に、子供の安全を確保する指導や対応を的確に行なっていると思う</p>			
<p>保護者と学校が共に手を取り合い運営するPTAにおいて、学年学級、及び各専門部の活動に積極的に関わっている。</p> <p>学校での取り組みが保護者等に適切に伝わるために、学校教育説明会や学校からの便り、ホームページ等を機能させている。</p> <p>子供と共に学習活動に参加することを通して、活動にのめりや教師のかわり方を理解していただく場として、保護者参加型授業を位置付けている。</p>		<p>学校は、学校教育説明会、学校からの便り、ホームページなどを通して、教育方針や具体的な取り組みについてわかりやすく伝えられていると思う</p> <p>保護者参加型授業で子供と共に活動する場を設けることが、担任の願いや日常の取組を理解する場となっていると思う</p>			

アンケートのお願い

お礼が散り散り、日増しに寒くなる折、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に対しまして、温かいご支援とご理解を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、今年度も本校の教育活動を反省し見直し、次年度の計画を立てる時期が迫っております。本校では平成18年度より保護者の皆様からもアンケート形式でご意見をいただいております。今年度もアンケートを実施し、その結果を学校運営及び教育活動の参考にし、より開かれた学校づくりを進めてまいりたいと考えております。主旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

※提出期間 11月16日(月)～11月17日(火)
※提出先 各担任
※アンケートは児童数で配布しますので、それぞれのお子様の担任まで提出してください。
※提出するときは、封筒に入れるなどしていただきますようお願いいたします。

あなたのお子様にかかわってお答えください

該当するお子様の学年をご記入ください。【 年】

評価は、 A よくあてはまる B ややあてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらないの4段階です。該当する欄にA～Dをご記入ください。
なお、4段階で判断できない項目は無回答、空欄で構いませんが、できるだけご回答くださいますようお願いいたします。

Q No	質問内容	回答欄
Q1	お子さんは、基礎的・基本的な知識や技能が身につけていると思う。	
Q2	お子さんは、自分で課題をもち、調べたり、考えたりする力がついていると思う。	
Q3	(5、6年の保護者のみ、お答えください) お子さんは、外国語活動を楽しんでいると思う。	
Q4	学校は、一年間の年間指導計画に基づいて教育活動を進めていると思う。	
Q5	お子さんは、学校の活動や友達とのかかわりの中で、優しさ・思いやり・感謝の気持ちがあると思う。	
Q6	学校は、ねらいをはっきりさせて運動会や学習発表会、児童集会、学年行事などを通じて子供を育てていると思う。	
Q7	学校は、一人一人の子供の話を聞き、適切な指導をしていると思う。	
Q8	お子さんは、家庭や地域の中で、自分から挨拶していると思う。	
Q9	お子さんは、事故や災害(交通事故・地震・火事・不審者等)から身を守るために何をしたらよいかわかっていると思う。	
Q10	学校は、震災及び学校近隣における事故発生時に、子供の安全を確保する指導を的確に行っていると思う。	
Q11	学校は、学校教育説明会、学校からの便り、ホームページなどを通して、教育方針や具体的な取組について、わかりやすく伝えていると思う。	
Q12	保護者参加型授業で保護者が子供と共に活動する場を設けることが、担任の頼りや日常の取組を理解する場となっていると思う。	

※裏面に「買ってほしい子供の姿」に関する記述欄がございます。そちらもご記入ください。

学校でのあなたのことを教えてね! [5・6年]
集計用 年 組

◇4月から今までをふりかえり、内容を読んで、当てはまる口の中に入れてください。

内 容	あてはまる	よくあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1 本を読むことは好きですか。				
2 授業の中で、話し合い活動に参加していると思いますか。				
3 外国語の時間に、英語を聞いたり英語で話したりすることは楽しいですか。				
4 朝の活動は自分にとってためになっていますか。				
5 学級での係活動や委員会、クラブ活動で、協力して活動していますか。				
6 自分のめあてをもって、運動会や児童集会、クラブや委員会活動に取り組んでいますか。				
7 休み時間にグラウンドや体育館で友達と遊ぶことは、楽しいですか。				
8 自分のよいところや得意なところを、友達や先生は認めてくれていますか。				
9 困ったことがあったとき、相談できる人がいますか。				
10 教室や廊下で、お客さんや先生、友達とあった時、自分からあいさつをしていますか。				
11 「一斉清掃の時間」などに、自分の仕事をしっかりと行っていますか。				
12 交通事故、地震、火事、不審者等から身を守る方法を知っていますか。				

1学期に学校で頑張った取り組みなどを書きましょう。

※これはテストではありませんので、思った通りに書いてください。

資料4 第二回交流会まとめ

第二回交流会(9月29日)まとめと今後の取り組み
教育課程プロ

第二回の交流会は、実感が湧きあがった児童等について各学級から一例だけ挙げ、交流した。各学級から出た「子供の育ち」の例は、ほとんどが何らかの問題を抱えている子の育ちについてであった。どの担任も、今回例に挙げた子に対し、その子により深く接近し、その子を理解するように努めて、教師が個々への対応をしっかりとしていることがうかがえた。

1. 実感を覚えた児童の例(全体交流から)	2. 実感へのアプローチ
(例1) ○落ち着きはないが、外遊びの好きな子 ※みんなが認めてくれた。 百点もとれ、「僕もできる」と自信をもてた	○みんなで外遊びを呼びかけ、外遊びの仕事をまかせた ○手をかけてあげると一特定の子に教師が直接かかわりを見せることで、学級の子供全体が育つ ☆児童理解
(例2) ○ルールを守れない、約束を破る(トラブル) ○あいまいなルール(家庭でも)一ちえあから ○困った友達関係 ※2学期くらいから守れるように、落ち着きも ※反省の気持ちを話せるように ※反省などいえるように	○具体的に、簡単な言葉で話しかけ ☆児童理解 ○担任が家庭ともよく話しかけて ☆児童理解
(例3) ○わがまま、気が強い、(トラブル)母も悩む ○避けられる、仲良しできない一学校へ行きながら ※怒られる等納得した指導を受けてすっきりしてる ※みんなで仲良くなる機会を増やす 意欲の高まり	○保護者とじっくり話す(友達関係が広がるようにアドバイス) ○悪いことはきちんと怒る ○グルーピングの工夫 ○教師とのふれあい「認める」「かわる。」を増やす ☆児童理解

3. グループ交流の中から(全体発表以外の例)
※乱暴な子一加入してできるように ※自分たちで動き出すことで自信につながる ※自分から取り組むことで、明るくなっていく ※いろいろな友達と交流をもたせる(グルーピングの工夫) 困った友達関係が改善 ※友達とのかかわりで問題を抱ええいるが、周りに優しくしてもらったり、認めてもらったり一意欲の高まり ※おとなしい子一前に出てこられるように

資料5. 交流会について

交流会(第三節) 12/1(火)交流について～

場所…会議室

平成21年11月20日(金)

二節が終わり、今年度の重点目標【意欲をもって取り組み 高め合う子供の育成】に基づき、各学級・学年等で達成に向けた取組がなされています。

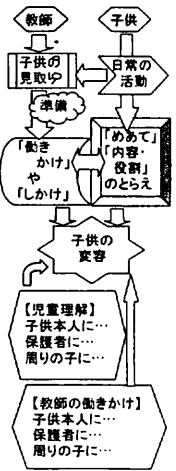
一回目の交流会等から、『めあて』、『役割』の認識、また『計画性』と『準備』ということからも意欲的な活動がなされるということがおさえられました。二回目の交流からは、「児童理解」「教師のかかわり方」が焦点となり、

そこで、三節の交流は、求める子供像の実現に向けて、個々の児童がどのように「めあて」をもち、どのように「取り組み」、どのような「成果」が出てそれをどう「振り返ったか」を交流していきます。

今回の交流では、前回同様各学年・学級で学習発表会の取組のはじめから振り返りまで一列を挙げて行きますので、発表のご用意をさせていただきます。

事例発表の流れは
①『子供たちへの教師の願い・思い(教師の見取りと児童のめあてからめあてから)』
②『その子へのめあてや役割への具体的取組(働きかけやしかけを一列あげて)』
③『どんな実感を覚え、その児童はどのように振り返ったか…次の活動に生きていると思われる事例を挙げて…』
という内容で進め、交流し合うことにします。

もうすでに、三節も終盤にさしかかり「学習発表会」から次の活動に向けて取り組んでいる学年学級がほとんどだと思えます。その活動には、学習発表会を含む今まで培ったものが役に立っていることと思います。今回も、具体的な交流で確かめることができた成果をもとに、今年度最後の四節に向けて、よりよい取り組みになるようにしましょう。



二節後半から三節にかけて、どんな日常の「実感」(運動会の成果、学習発表会の取組などで育っていったことも含めて)があったかをグループ内で発表しあい、子供自身のめあて一振り返り等からみられる育ちを全体交流で発表します。話し合いの方向性としては、三節の交流からの考察が示すことができたことを検証し、今後の取り組みに生かしたいと考えています。

また、保護者アンケートに関して時間をとらせていただきます。保護者の答えた回答の活動期間は、一から三節の中の「学習発表会」も含めた活動の中での子供の振り返りとみなすことができます。

- 【交流の進め方】
- ※1. 15:30～15:35で進め方を確認します。
 - ※2. 15:35～15:55で子供の「実感」について発表し合います。
 - ※3. 15:55～16:10で記録者が各グループの交流内容を五分以内をめぐりに発表します。
 - ※4. 16:10～16:15アンケートについて報告します。
 - ※5. 16:15～教頭先生と校長先生からのお話です。

グループ

Aグループ…

Bグループ…

Cグループ…

後ほど、司会と記録・発表者を担当からお願いします。